

# いぶりの森づくり

胆振の概況 2021

- 管内の森林面積は、253千haで総土地面積の68.2%、全道森林面積の4.6%を占めています。また、森林蓄積量は29,568千m<sup>3</sup>で、全道森林蓄積量の3.7%を占めています。
- 管内の森林の構成は、人工林が75,560ha、天然林が164,208haとなっています。また、人工林では、大半を占めるトドマツ、カラマツ類が成熟期を迎えており、地域材としての利用が期待されています。
- 管内は、道内の木材・木製品の輸入拠点となっており、室蘭港、苫小牧港の2港で、丸太の93.5%、製材の98.5%、チップの70.4%が輸入されています。
- 管内の森林づくりは、道が平成29年3月に策定した新たな「北海道森林づくり基本計画」に基づいて進められており、「森林資源の循環利用の推進」と「木育の推進」を柱として、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を加速することとしております。

## ◇森林資源の循環利用の推進

「植えて、育てて、伐って使って、また植える」のもと、計画的な森林の整備・保全を進め、森林の持つ多面的機能の発揮と林業・木材産業の健全な発展を実現します。

- ・着実な再造林を図るため、優れた苗木の増産や、造林、下刈りに係る作業の効率化・軽労化を進めます
- ・原木の安定的な供給体制の構築を図るため、森林施業の低コスト化などにより、計画的な伐採を進めます。
- ・林業事業者を育成するため、森林づくりを担う人材の育成・確保や経営体質の強化を図ります。
- ・地域材の利用促進を図るため、様々な分野で地域材の需要拡大・創出、木材加工流通体制の整備を進めます。

## ◇木育の推進

企業やNPOなどの民間、教育関係機関など多様な主体と連携した木育活動に加えて、子育て世代や森林への関心の薄い層などへの木育活動を進めることにより、道民との協働による森林づくりを実現します。

- ・木育マイスターと連携した木育活動や商業地でのイベントを実施し、木育への道民の理解を促進します。
- ・子育て世代とその子どもに対する木育活動を重点的に実施します。

## ◎木材関連生産量

製材	チップ	素材	木質ペレット
80千m <sup>3</sup>	161千m <sup>3</sup>	125千m <sup>3</sup>	3,019トン

(林産関係調査及び林務課資料)

## ◎木材・木製品輸入量

区分	丸太	製材	チップ
室蘭・苫小牧港(A)	43千m <sup>3</sup>	257千m <sup>3</sup>	469千トン
全道(B)	46千m <sup>3</sup>	261千m <sup>3</sup>	666千トン
A / B (%)	93.5	98.5	70.4

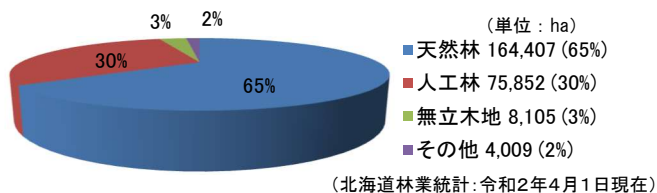
(北海道木材貿易実績：令和元年度実績)

## ◎特用林産物生産量

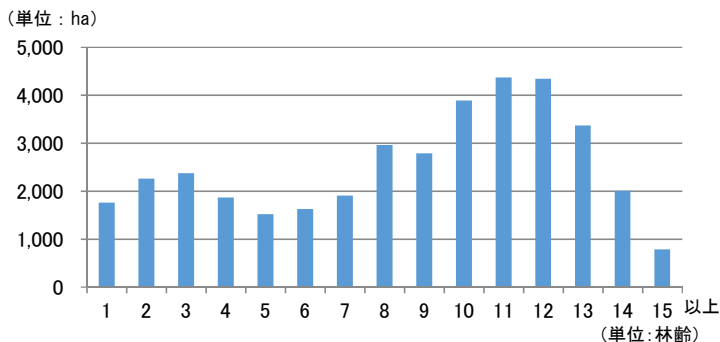
区分	生しいたけ	その他きのこ	木炭
室蘭・苫小牧港(A)	1,895トン	4,822トン	36トン
全道(B)	6,719トン	10,583トン	837トン
A / B (%)	28.2	45.6	4.3

(北海道特用林産物統計：令和元年度実績)

## ◎林種別森林面積



## ◎人工林年齢別資源構成（一般民有林）



## ◎森林面積

(単位：ha)

区分	面積
森林	252,374
国有林	100,503
森林管理局所管	99,115
その他国有林	1,388
民有林	151,725
道有林	32,665
市町村有林	16,098
その他民有林	102,962
その他	117,487

(北海道林業統計：令和2年4月1日現在)

## ◎樹種別森林蓄積量

(単位：千m<sup>3</sup>)

針葉樹計 13,452	トドマツ	5,756
	エゾマツ	827
	カラマツ類	5,549
	アカエゾマツ	619
	スギ	36
	ヒノキアスナロ(ヒバ)	0
広葉樹計 16,116	その他	665
	ナラ類	2,659
	カンバ類	3,169
	シナノキ	1,680
	カエデ	2,029
	フナ	2
	ニレ	206
	ハリギリ(センキ)	281
	タモ類	363
	カツラ	244
	その他	5,484
合計	29,568	

(北海道林業統計：令和2年4月1日現在)

## ◎保安林指定面積

(単位：ha)

区分	面積
水源かん養保安林	127,286
土砂流出防備保安林	19,548
土砂崩壊防備保安林	578
その他保安林	1,665
合計	149,077

(北海道林業統計：令和2年4月1日現在)